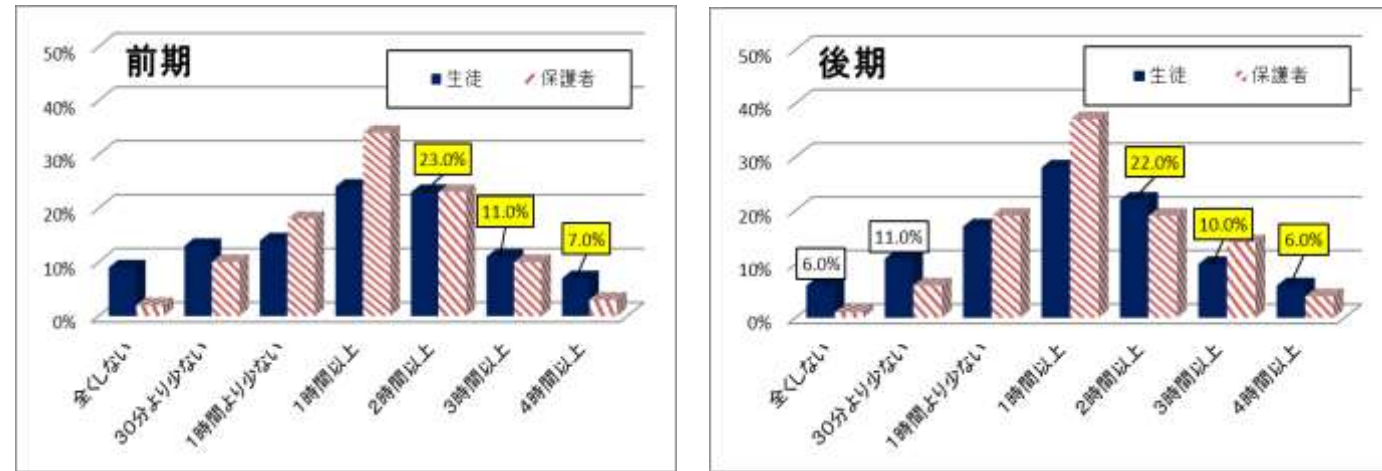


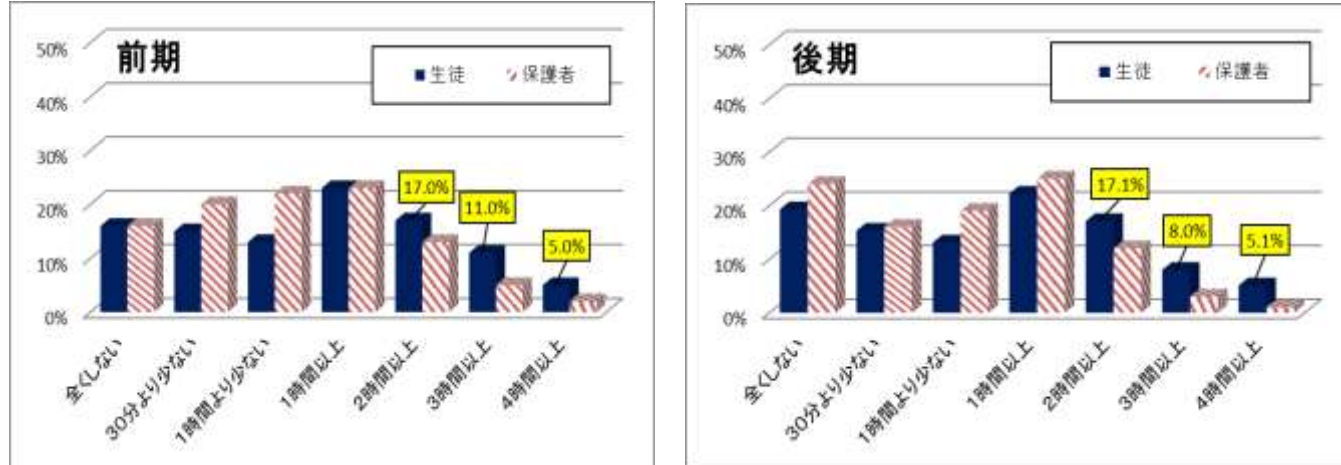
(2)【通信機器の使用】ふだん(月曜～金曜)1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール(ラインなども含む)、インターネット(YouTubeなども含む)をしますか。<生徒と保護者の意識の比較と1学期・2学期の変化について>



(2) 評価 : B

使用時間に関しては、生徒と保護者の意識の差はそれほどないようです。また、使用時間については、2時間以上の生徒が1学期 41%→2学期 38%と使用時間はほぼ横ばいです。今年度も2時間以上使用している生徒の割合が、市内中学校の平均を超えています。

(3)【ゲーム使用時間】ふだん(月曜～金曜)1日あたりどのくらいの時間、ゲームをしますか。



(1) 評価 : B

2時間以上の使用では生徒と保護者の意識に差が生じています。また、2時間以上の使用が1学期 33%→2学期 30%とほぼ横ばいです。また、2時間以上の使用者が昨年度より9%増加しました。

今年度もメディアの使用時間が多い生徒ほど、睡眠時間が少ないことが伺える結果になりました。この結果を受けて、保健委員会を中心に生活習慣の向上運動に取り組みました。来年度も学級活動や生徒会活動において、生活習慣の改善・メディアコントロール等、時間の効果的な使い方(タイムマネージメント)について啓発に取り組んでいきます。また、ゲームや通信機器の使用ルールを決めている家庭が76%となり、昨年度より6%増加しました。これからもメディアコントロールによる生活の質の向上を目指し、各家庭と連携して進めてまいりますので、ご協力をお願いします。



西中学校評価だより

UNESCO・西中
自立、共生、貢献
2023・2・9

2学期末に行われた「見附市共通アンケート」や「学校独自アンケート」の結果をもとに、1学期と比較し来年度へ向けた西中学校の教育課題についてお知らせします。

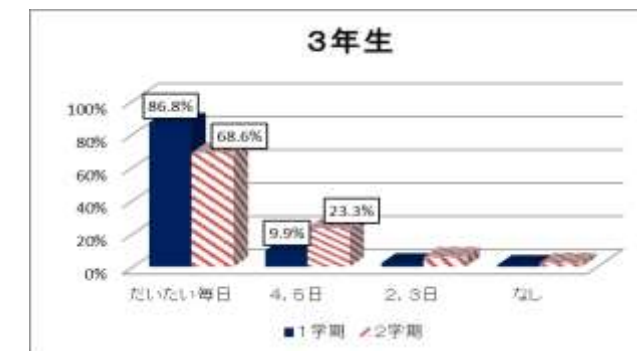
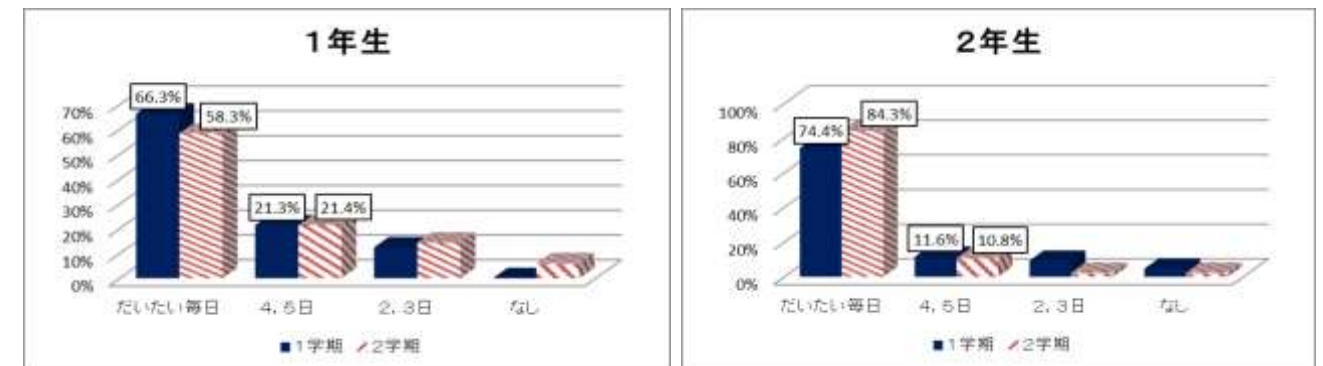
知 <確かな学力>『自ら学ぶ姿勢を育て、学力の向上を図る』



【<確かな学力>成果目標】

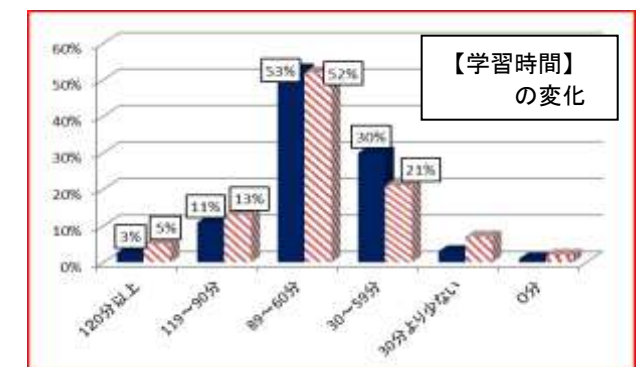
- 市共通生徒アンケートで「1週間に何日くらい家庭学習をしていますか」において、肯定的評価(4・5日以上)が90%以上となる。
- 独自生徒アンケートで『もっと学びたい』『もっとできるようになりたい』という意欲をもって授業に取り組むことができた」において、肯定的評価が85%以上となる。

(1)【家庭学習の日数】一週間に何日くらい家庭学習をしていますか。(宿題、学習塾を含む)



(1) 評価 : B

肯定的評価(4,5日以上)は1年生 87.6%→79.7%、2年生 86.0%→95.1%、3年生 96.7%→91.9%の結果になりました。1年生では肯定的評価が80%を下回りました。また、全校では、見附市内の中学校平均値87%を上回りましたが、昨年度に比べ肯定的評価が9%下がりました。



今年度、「1週間に何日くらい家庭学習をしていますか」のアンケートにおいて、肯定的評価(4・5日以上)が90%以上になることを目標としていましたが、達成できませんでした。また、予習に取り組んでいる生徒の割合も減少しました。来年度も家庭学習の意欲向上を図るため、計画づくりや自主学習の奨励により一層努めます。

(2)「学校独自アンケート」での生徒から授業に対する下のようなアンケートを行っています。

「もっと学びたい」「もっとできるようになりたい」という意欲をもって、集中して授業に取り組むことができた。

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
1学期	91%	96%	95%	94%	95%	92%	96%	94%	93%	88%
2学期	93%	93%	93%	95%	94%	93%	95%	93%	93%	92%

授業の内容を理解したり、技能を身につけたりすることができた。

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
1学期	92%	90%	93%	91%	91%	91%	92%	93%	92%	89%
2学期	94%	91%	89%	92%	90%	92%	94%	95%	94%	92%

ノートの取り方を工夫したり、話し合い活動に積極的に取り組んだりすることで、新しい気づきを得たり、より理解を深めたりすることができた。

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技術	家庭
1学期	84%	90%	89%	85%	85%	87%	91%	94%	91%	91%
2学期	85%	90%	90%	89%	90%	88%	93%	96%	94%	92%

(2) 評価：A

「『もっと学びたい』『もっとできるようになりたい』という意欲をもって授業に取り組むことができた」の肯定的評価が成果目標を大きく上回りました。また、授業内容の理解も肯定的評価が高く、意欲の高まりが深い理解につながっていることが伺える結果となりました。

今年度も学習意欲の向上を図るために、ファシリテーションスキルを取り入れることと ICT の活用を進め、指導の工夫と改善に努めてきました。今年度の主体性を伸ばす取組の成果が、「話すこと」「聞くこと」の力が全国平均を大きく上回ったことです。来年度も学びに向かう意欲を家庭学習につなげられるよう、指導方法の工夫に努めます。これからも家庭学習の定着にご協力ください。



徳 <豊かな心>『自らを律し、思いやりの心の育成を図る』

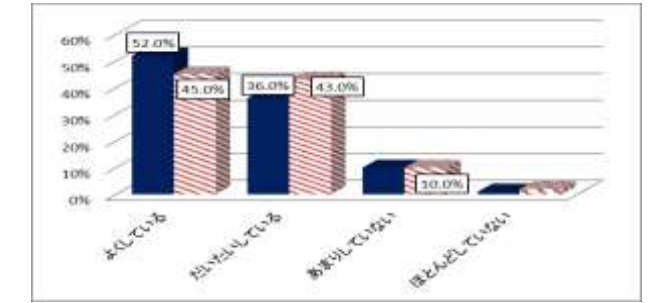
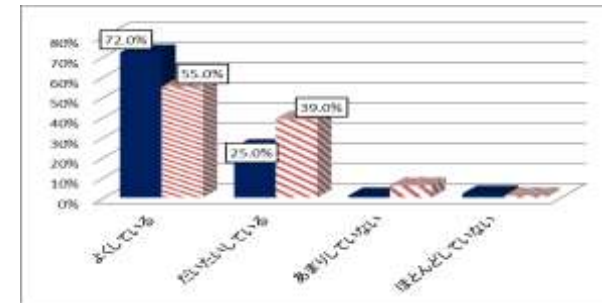
【<豊かな心>成果目標】

- 全国学力学習状況調査で、「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」において肯定的評価が95%以上となる。
- 市共通生徒アンケートで、「失敗を恐れないで、挑戦していますか」において、肯定的評価が85%以上となる。
- 市共通生徒アンケートで「自分には良いところがあると思いますか」において、肯定的評価が80%以上となる。

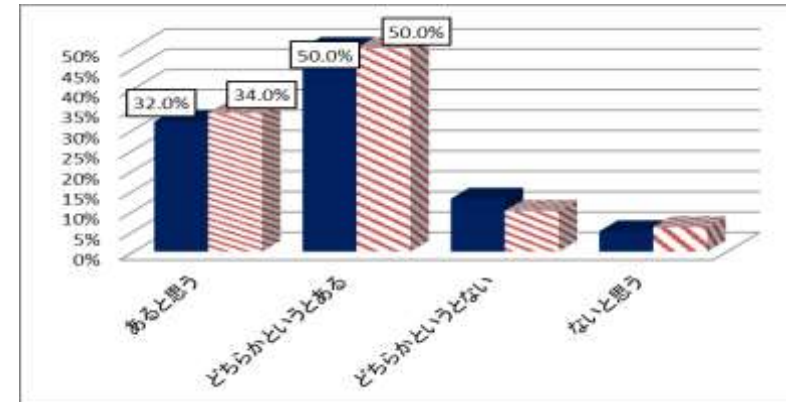
心理的安全性のある集団づくりを進め、いじめや偏見・差別を許さない心や互いの考えを受容する力の育成に努めてきました。その結果「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」が、95%を超えました【評価A】。共感的な人間関係と互いに支え合う気運が失敗を恐れずに挑戦する意欲の向上にもつながっています。来年度も「互いに認め合う」こと、「達成感を持ち、自己肯定感を高める」活動を展開していきます。



(1)【学校でのあいさつ】学校で友達や先生、お客 (2)【地域へあいさつ】地域の人に進んで
さんに進んであいさつをしていますか。 あいさつをしていますか。



(3)【自己の肯定感】自分には良いところがあると思いますか。



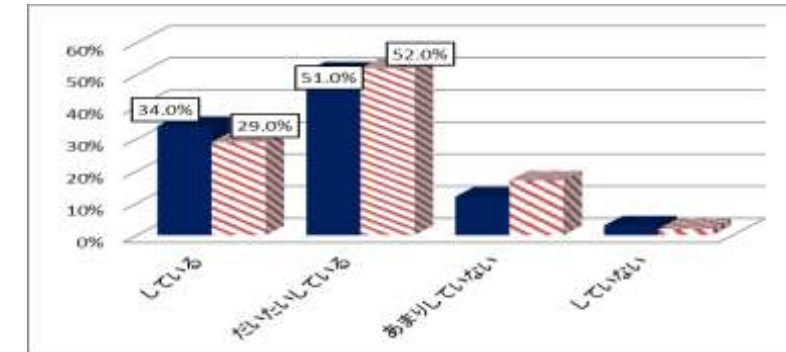
(1) 評価：A
肯定的評価が1学期 97.0%→2学期 93.1%と高い肯定率となりました。

(2) 評価：A
1学期 88%→2学期 88%と高い肯定率です。昨年度に引き続き、市内中学校の平均を上回りました。

(3) 評価：A
1学期 82%→2学期 84%と昨年度よりも高い肯定率です。市内の中学校平均を4%上回る結果となりました。

(4) 評価：B
1学期 85%→2学期 81%の肯定率でした。昨年度より肯定率は3%高くなり、年々数値が上昇しています。

(4)【困難への克服】失敗を恐れずに挑戦していますか。

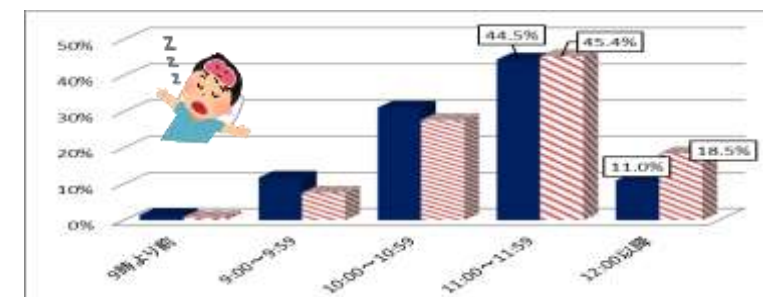


体 <健やかな身体>『健康・体力の向上を意識する態度の育成を図る』思い

【<健やかな身体>成果目標】

- 独自生徒アンケートで「タイムマネジメントを意識して、生活するようになった」において肯定的意見が70%以上となる。

(1)【就寝時刻】(月曜～金曜日)、何時ごろ寝ますか。



(1) 評価：C
11時以前の就寝を肯定的評価とするならば肯定的評価が36%で、昨年度より5%低い結果となりました。また、睡眠時間の減少の改善は見られませんでした。